

ぎのわん地域づくり塾 ニュースレター

Vol. 4

主催：宜野湾市 / 宜野湾市社会福祉協議会 運営：まちなか研究所わくわく
共催：沖縄国際大学 後援：沖縄県地域振興協会

H29. 8. 21 ~ぎのわん地域づくり塾の様子をお伝えします~ 発行：宜野湾市市民協働推進課

地域課題を「現象」と「原因」から考える

第3回 <8月21日(月)19:00-21:30> 23名参加

宇地泊区の地域課題の
「現象」と「原因」を考える
まちなか研究所わくわく 宮道喜一氏



第3回講座は、宇地泊区の地域課題の「現象」と「原因」を考えることがテーマです。これからチームで取り組む「困りごと」を選び、起きている具体的な現象とそれを引き起こす原因を、グループで出しました。

まず、各チームに分かれて前回の講座であげられた宇地泊区の困りごと「高齢者の出番づくり」「若者の地域参加・子育ての悩み」「環境づくり」「防災」「自由枠」の中から、チームがこれから取り組むテーマを選びました。

Aグループ 高齢者の出番づくり

Bグループ 若者の地域参加・子育ての悩み

Cグループ 全世代交流のかけはし

Dグループ 若者の地域参加・子育ての悩み

Eグループ 55~65歳のプレ高齢者に
いかに地域で活躍してもらうか

続いて、それぞれの困りごとで「誰がどんなことで困っているのか」目に見えるもの（現象）を付箋紙に書きグループで話し合いました。

そして、それがなぜ起きているのか、現象を引き起こすもと（原因）を考え付箋紙を使って書きだしていきました。

さらに他のグループで話し合われたことを見に行くことで、異なる視点を学ぶことができました。

今回は地域課題を出し合い共有する、拡散の時間でした。次回以降、取り組む課題を絞り込み、かぞえる、くらべる、たずねるといった手法で調べていきます。



塾生の声 ~レポートより~

~気づき・学び~

- テーマを決める際に意見が割れていたが、話し合うことで、まとめたという自然な流れができ、気持ちが一つになった。
- いきなり手段を考えるのではなく、原因を丁寧に掘り下げていく作業を通して、新たな気づきがあり、深まっていた。
- 同じテーマの課題でも見る視点が違うと、全然違う現象と原因があることに気がついた。
- グループのメンバーが意見を肯定的に受け止めていたので安心して発言ができた。

~自分に生かしたいこと~

- 思い込みではなく事実に基づいて企画する。
- 異なる思いや視点をうまく引き出すために思い込みを無くして、耳を傾けることが大切。
- 他の人の意見に、肯定的な態度で反応する。
- 現象→原因としっかり分けて考える。
- 考えこまない。とにかく思った事は言葉にする。

次回の講座は…地域課題を調べる

~フィールドワークの作戦会議~

高崎経済大学 櫻井 常矢氏

8月31日(木)19:00~ @宇地泊区公民館